

嵐山町議会

第22回 議会報告会 報告書



議会報告会



意見交換会（左：地域公共交通について、右：子育て支援について）

令和5年5月13日（土） 午後2時～

I 報告会の概要

1 開催日時、会場

令和5年5月13日（土） 午後 2時00分 ～ 嵐山町役場

2 報告会次第

受付

進行

（小林智 広報広聴常任副委員長）

開会あいさつ

（森一人 議長）

予算の概要報告

（畠山美幸 予算特別委員長）

委員会報告

・総務経済常任委員会

（狛守勝義 総務経済常任委員長）

・文教厚生常任委員会

（青柳賢治 文教厚生常任委員長）

・広報広聴常任委員会

（藤野和美 広報広聴常任委員長）

主な議案とその他の報告

（藤野和美 広報広聴常任委員長）

休憩

意見交換会

A グループ「子育て支援について」

B グループ「地域公共交通について」

閉会のことば

（小林智 広報広聴常任副委員長）

3 出席議員 10人

番号	議員氏名	番号	議員氏名	番号	議員氏名	番号	議員氏名
1	小林 智	3	狛守 勝義	4	藤野 和美	6	大野 敏行
7	畠山 美幸	8	長島 邦夫	9	青柳 賢治	10	川口 浩史
12	渋谷登美子	13	森 一人				

※ 番号は議席番号です。

II 報告会の内容

1 参加者数 26人

2 報告会資料

第22回議会報告会（パワーポイント資料）

Ⅲ 意見交換会

※意見交換会での発言は議員個人の発言によるものです。

「●」 印は参加者の皆さんからのご意見です。（ご意見は要約しています）

テーマ 『子育て支援について』

参加者からいただいた意見と議員の意見

- 嵐山に住み始めて15年位経つ。レピや嵐丸ひろばなど、幼児に対する支援が手厚くなって良かったが、小学生以上に対する支援は少ないと思う。以前、町から子ども一人あたり年額1万円の支給があったが、それもなくなってしまった。
- 上の子と下の子で3歳離れている。3年の間に出生率は下がり、赤ちゃん相談会や健診の回数も減って、サービスに開きを感じる。保育園にも入りにくく、仕事に復帰できるか不安だった。入所の審査基準はどうなっているのか気になる。子どもが増えるような施策をとってもらいたい。子どもが安心して遊べるよう公園の除草作業もしっかりやってほしい。
- 引っ越してきた当初、遊ぶところのない町だと感じた。第一公園は草が生えていて遊べない。新田沼公園は何が目的の公園か分からず危ない公園だと思っている。
- 子どもが学校に行けなくなった時、親に対するサポート体制がないと感じる。学校の校則や制服が昔から変わっていないので、今の時代に合った校則を考えてほしい。セーラー服にズボンは似合わない。
- 町は子どもたちの負担を考えて、ランドセルの自由化を発信してほしい。七郷小は通学距離も長く、上の学年の子やボランティアの方が持ってくれたりしながら通っている。
- 子どもを預ける場所が少ない。特に放課後の施設がない。図書館、役場、旧役場等の空き施設をなぜ再利用しないのか。また、発達障害を持つ子どもが利用できる施設が全くないのでがっかりしている。
- 個人的には学校再編を速やかに進めてほしいと思っている。中学校では勉強以外の課外活動が大事だと思っているので、部活動数が増えて欲しい。
- 多子世帯への支援が手厚くなれば良いと思う。国保税減免や子ども手当の他に、お金の面で他市町村より優位性を付ければ人が入って来ると思う。働き手が来るようなまちづくりを目指してほしい。また、地域コミュニティを増やすために、町が区に協力して、子ども向けのイベントを推奨してもらえたら良いと思う。
- 子どもの遊び場が少ない。公園が寂しく児童館もない。親が安心して子どもを遊ばせる場所がもっとあれば良い。
- 子育ては子どもがいる家庭の問題だけではないと思う。年配者も含め、地域で子どもを育てる環境づくりをすることが大事。地域で子どもをどう育てるか、社会全体で支える発想をしていかないと人は増えないと感じている。

議員) 昔は、老人も地域の子どもの対して関心があった。年配者はもっと子育てに参加していただけるよう、若い人は年配者と接点を持てるようにすることが必要。老人会を活用するなど、町として取り組んでほしい。

●老人会は学校やPTAと連携したこと、または予定はあるのですか。

議員) これまでに地域のおまつりなどをやってきたが、コロナになってやらなくなってしまった。再開にあたり、なかなか手を挙げる人がいない。年配者からの協力も若い人たちからの誘いも少なくなってきている気がする。

●運動会の駐車場係など、防犯パトロールをしている方(シルバー)にお願いすることは可能か。

●駐車場係について、七郷小はPTAの役員間で調整している。防犯パトロールの方と連携はあるので、あらかじめ確認した上で協力をお願いすることは可能だと思う。

●子どもの居場所を作った場合、職員の配置が難しいのであれば、シルバーの方にお願いすることもできるのでは。

議員) 以前、廣野2区では自治会館が放課後の子どもの遊び場になっていた。各地区の集会所や自治会館を利用して子どもの居場所づくりができれば良いと考えている。

議員) 学校応援団を活用できれば良い。

●子育て世代の方が統廃合を急いでほしいという思いは当然だと思う。しかし、まちづくりの視点から議論する場合、年配者も入って意見交換をしないといけない。統廃合に関して年配者が無関心というのは残念。

●無理、できない、人がいないというのは理由ではない。他市町村を視察に行って勉強してほしい。

議員) 意見交換の場をもっと設けて町民の要望を聞くことが大事。

●子どもが不登校になった場合、どうしたら良いか分からない。町から色々な情報提供があれば方向性が見えることもある。町と学校が情報共有して連携をとれば、親が一人で悩むこともないと思う。

議員) 不登校の原因は学校側も分からないことが多く難しい。学校も機会をとらえて登校できるよう努力している。

議員) 不登校の子どもに対して、タブレットを使った授業をしていますか。

●学校からタブレットでやり取りできると提案もあったが、なかなかタブレットを開けず、再開のタイミングが難しい。学校へ行きたいけど一歩踏み出せない。

議員) 学校側も少しずつ学校に近づけるよう努力をしているが、それぞれケースが違うから難しいと聞いている。

議員) 第3の居場所のスクールカウンセラーから支援はありましたか。

●担任、教頭と3者で話し合いをしていた。第3の居場所は家庭に問題がある児童のための施設と言われてしまった。菅谷小学校のスクールカウンセラーは予約がいっぱいだったので、最終的にはスクールソーシャルワーカーに話を聞いてもらった。

●病院には心の病を抱える子どもの受診が多くなっている。病的な問題はないのに、どうして学校に行けないのか、朝起きられないのかなど、医師に相談する親が多い。もっと保護者に寄り添ってケアすることが必要。親も相談する人がいなくて孤立している。

●色々な意見を聞くことができたので参加してよかった。意見交換会の場に町の担当職員がいなくて残念。町民に寄り添う役場職員であってほしい。

議員)今日は議員主催の意見交換会のため参加していない。町政報告会の必要性を町側に伝えたいと思う。

テーマ 『地域公共交通について』

参加者からいただいた意見と議員の意見

- 免許証を返納する歳に近づいてきた。町内を循環するバスを走らせて欲しい。タクシー券も継続して頂きたい。
- 免許証返納者は今後増えてくる。タクシー券の使い勝手は良いが、枚数に限りがあって、現状の配布枚数でニーズに合っているか疑問。利用者が集中する時は断られてしまう。また、予約をすると別途400円加算される。タクシー券を利用する人は増えるので、タクシーの奪い合いになるのではないかと不安。デマンドも良いがリスクがあると思う。
- タクシー券は遠方に行くときすぐになくなってしまっているので、バスがあれば良いと思う。
- 健康を考えて歩くようにしているが、買い物をして重い荷物を持ち帰る時はタクシーを使う。高齢者も自分で品物を見て買い物をすることが楽しみなので、安価で乗れる循環バスが走っていると良い(停留所で止まったり、目印を付けた人がいれば停まってくれるバス)。また、能動的に活動できるよう、移動スーパーなどのサービスがあると良い。
- 長期(1か月単位)で介護施設を利用する単身高齢者が増えている。町のタクシー券を利用している人は多いので、自由に行動できる足の確保が必要。
- 嵐山町は車がないと不便な地域。もう少し公共交通が充実していると良い。NPO法人移送サービスに参加しているが、運転手の充実と法人の運営が維持できるよう行政での応援が必要と感じる。
- タクシー券の予算はどの程度確保してあるのか。

議員)令和5年度1千万円程度。

- バスを走らせるのが一番良いが、予算の問題もあり難しいと思う。タクシー券の利用者から具体的な利用調査をする必要がある。学校問題でスクールバスの話が出ているが、そういったものとタイアップしたら良い。
- 公共交通機関を復活させることに力を入れると良い。他の市町村でも色々な方法をとっているので、先進地から学んで取り入れて欲しい(東京都桧原村など)。公共交通機関を利用して、生活圏を広げることが大事。バス会社と連携して修正を重ねながら町にとって一番良い方法を探して欲しい。
- 引っ越した当時は嵐山病院もあり、バスも通っていたので安心していましたが両方なくなってしまった。バスがなくなった過程やバスとタクシー券を運営する上での金額の違いを教えて欲しい。自分で品物を見て買い物をすることは大事なことで、町も活性化する。週2回買い物に行くと、今のタクシー券の枚数では足りない。今後高齢化で病院のお世話になるかもしれないということを考えると、公共交通は検討していただきたい。ぜひ他の市町村を見て検討してほしい。

- 嵐山町には大きな病院がない。日赤や嵐山病院まで行く場合は駅まで歩いて電車を使っているが、今後自分の足で行けなくなる人は益々増える。交通の便がないこととスーパーがないので不便だと感じている。議員さんはこのことをどう考えているか。
- 学校再編検討委員会で、スクールバスとコミュニティバスのコラボレーションができないかという話が何度も出た。スクールバスは基本的に目的外使用ができないが、地域の状況によってスクールバスをコミュニティバスへ、コミュニティバスをスクールバスへ、と乗り入れをしている所がある。他市町村では色々なやり方を試してバスを走らせている。例えば、村営の路線バスもスクールバスも走らせ、共通で利用できる定期券も発行し、便利に使っている。町でもスクールバスを出すことを考えているので、全国の色々な状況を調べて検討すべき。スクールバスの話をするのであれば公共バスの話を並行しなくてはならない。そのことを議会でもやってもらいたいし、プロジェクト会議にも働きかけをしてほしい。行政・議会・町民がトロイカ体制で動いていくべき。
- スクールバスではなくコミュニティバスという形に持っていけば良いのでは。
- 何の利用であっても一定の利用者負担は必要。駅を中心として循環バスを検討したら良い。
- 町には各種委員会があるが、第三者の町民をメンバーに入れて審議することが必要。
- 高齢者の足をいかに確保するか。町の公認運転手をつくって、10人程度のグループで移動できるような手段があれば良いと思う。

議員) 交通空白地域の対象となる北部地域では、地域公共交通会議(事業者と住民で話し合い)を開催して、デマンドタクシーなどを実施すると、赤字分の8割を国が地方交付税で出すという制度がある。提案しているが実現していない。七郷の農協跡地を中心として停留所を作り、駅や嵐山病院、小川日赤を経由するコースを作ったら良いと考えている。

- 一人暮らしの高齢者は、土日は家族に送迎をお願いできることもあるので、火曜日・木曜日などにコミュニティバスを運行したら良い。無料は良くない。
- タクシー券の予算1千万円は町の予算を圧迫しているのか。行政はバスを走らせる考えがあるのか。議会として町内循環バスを走らせたいと考えているのか。

議員) タクシー助成券は対象者の年齢を上げている現状があるので、予算的には苦しいと思う。タクシー補助券は公共交通ではなく、福祉の問題と考えている。基本的には運転免許のない高齢者が対象という位置づけ。本当の意味での公共交通はそういうものではない。利便性ということを考えると、以前はバスも総合病院もあった。利用者減、財政状況悪化という状態からどちらもなくなり不便になってしまった。本当の意味での公共交通をこれからつくっていかなくてはならない時期に来ている。利便性を高めないと人口減は進むし、若い人は入って来ない。公共交通は今後の嵐山町の未来をつくる大事なものと思っている。

- 公共交通は誰のために話を進めるのか。一人で外出できない高齢者は、町中に住んでいてもどこにも出かけられず、ぽつんと一軒家に住んでいるのと同じ。バスを出すのは予算的に厳しいし、今後には子どもの数も減ってくるのでそういったことも含めて真剣に取り組んでもらいたい。

議員) 議会の中で公共交通について議論はしていない。しかし、大きい問題だと捉えている。

V 議会報告会に関するアンケート集計結果（ 26/26 枚回収）

アンケートにご協力いただいた方

20代（0人） 30代（1人） 40代（6人） 50代（1人）

60代（7人） 70代（10人） 未記入（1人）

1 今回の議会報告会は何で知りましたか

議会だより（6人） ホームページ（0人）
PTA（6人） 案内通知（14人） その他（3人）

複数回答あり

2 議会報告会について

ア 進行

良かった（11人） 普通（12人） 良くない（3人）

イ 説明

分かりやすい（5人） 普通（13人） 分かりにくい（7人）

ウ 資料

分かりやすい（2人） 普通（18人） 分かりにくい（6人）

エ 定員

多い（0人） ちょうど良い（16人） 少ない（8人）

オ 時間

長い（1人） ちょうど良い（13人） 短い（12人）

未回答あり

3 意見交換会について

ア 進行

良かった（14人） 普通（5人） 良くない（2人）

イ 時間

長い（2人） ちょうど良い（8人） 短い（11人）

ウ 今後やってほしいテーマは

- ・ 少子高齢化
- ・ 子育て支援
- ・ 公共施設
- ・ 地域公共交通
- ・ ごみの分別
- ・ まちづくり
- ・ ふるさと納税
- ・ 町おこし
- ・ 学校廃校後の跡地利用のアイデア、要望

4 開催を希望される曜日と時間帯、場所について

ア 曜日と時間帯について

- 土曜日（16人） 日曜日（3人） 平日（3人）
午前中（8人） 午後（15人） 夜間（2人）

複数回答あり

イ 場所について

- 町民ホール（15人） ふれあい交流センター（7人）
北部交流センター（2人） 南部交流センター（2人） その他

5 その他（自由記述）※参加者の皆さんからのご意見を、原文のまま掲載しております。

- ・議題をしぼった意見交換にしてほしい。各意見が多岐に渡り過ぎ。
- ・議会報告会、意見交換会は何のために行っているのか。発足時の初心に戻って考えてもらいたい。
- ・意見交換会で出された意見が町政運営に活かされているのか。一般質問等に取り上げられたことがあるのか。ルートを決めて、何らかの方法で執行側まで届くようにしなかったら意味がないと思う。
- ・質疑が短すぎる。質疑の時間を多くとった方が良い。
- ・質疑に対する議員の答弁が曖昧で不適切である。
- ・質問の意図の理解不足を感じた。
- ・資料と説明が一致していなくて分からなかった。
- ・子育て支援についての意見交換会に参加させていただきました。一度きりの意見交換会では、結果が出ないのではないかな？と思いました。同じ議題で何度か交換会をしたら良いと思いました。
- ・不登校について意見させていただきました。不登校になってからの支援もありがたいですが、不登校にならないように、子供へのサポートも大事にしてほしい。
- ・子育て支援について色々聞いて良かった。これからはもっと町全体で子育て世代を応援できたらいいと思う。個々の意見が反映できる機会がもっとあったらいい。
- ・PTAは正社員として働きながら並行するのはとても大変です。小学校のあり方は、昭和の時代から変わらなすぎると思います。シルバーの方が協力して頂けるなら、PTAで行っていることを代行して頂けると大変助かります。例えば、小1のお迎え当番など、仕事を休んで何日か行うよう求められます。シルバーの方が普段から登下校で見守ってくれているのに、そこまで今の時代も必要なのかと感じます。時間とやる気のあるシルバー世代の力をもっと借りたいです。
- ・不登校児童の預け先等、町の広報等に載れば良いのでは。
- ・嵐丸ひろばは、駅の中でなくても良いのでは。
- ・駅にコンビニやお店を入れて欲しい。嵐山町の利便性について向上していかないと若い世代が住んでくれないと思う。ロータリー工事を機に、駅周辺の開発を考えてほしい。
- ・時間をとって、別の形で検討する場を作ってほしい。
- ・狛守議員の公共交通の考え方を聞いて嬉しかったです。時間が足りなくて、他の議員さんの話が聞けなくて残念でした。
- ・意見交換会の時間がもう少し長くても良いと思いました。

- 議員さんももう少し色々な勉強をしてほしい。
- 嵐山町の子育て支援 嵐山で子育てしてよかった、嵐山には「これ」という大きなものがない。魅力がない。
- 小学生の遊べる所がない。沼の公園でボール遊びはできない。小学校は土日開放しているのか。
- 子育て支援をしないと人は移住しない。人は増えない。老人も潤わない。子どもの給食費無償、中学、高校へ入学する子どもの支援で入学準備金等あれば他町から人は集まるのではないだろうか。
- 嵐山へ移住して数年になるが、嵐山で子育てしてよかった！というものがない。
- 危機感を持ってほしい。
- 先生方の指導の低下をととも思う。町のこと、子どもの相談先(メンタル)を何も把握していない。
- 中学校の部活の少なさ。選べる部が少なすぎる。2校一緒にできたらいい。
- 中学部活動で遠方へ行く際、親は仕事で送迎できない。お願いできる人がいない。バスが出たら良い。